

・がん罹患率

がん罹患率とはがんと診断される方の確率です。全体のがん罹患率は男性で62%、女性で47% 約2人に1人が生涯がんに罹患するとデータが出ています。また女性特有の子宮がんは3%で33人に1人、乳がんは9%で11人に1人は罹患するといわれており、子宮がんは5位、乳がんは1位になっています。

・マンモグラフィー検査とは

マンモグラフィーは乳房専用のレントゲン検査で、少ない放射線の量で安全に乳がんの検出ができます。透明の圧迫板で乳房をはさみ、薄く伸ばして撮影します。その理由は、乳房のなるべく多くの部分を撮影するため、また少ない放射線量でがんと正常部分の区別が付きやすい画像を作るためです。検査のときは多少の痛みがありますが、いつまでも痛みが残ることやがんがつぶれて飛び出すようなことはありません。

痛みが我慢できなければ遠慮しないで撮影技師に伝えてください。

・マンモグラフィーの被ばくについて

マンモグラフィー撮影の放射線が人体へ及ぼす危険性は、ほとんどありません。

一回の撮影で乳房が受ける放射線の量は東京—ニューヨーク間の飛行機の中で受ける宇宙からの自然の放射線量の約半分です。

・マンモグラフィーでわかること

マンモグラフィーは石灰化の描出にすぐれており、触っても判らないような早期の小さな乳がんは勿論、しこりを作らない乳がんを白い影(腫瘤影)や非常に細かい石灰砂の影(微細石灰化)として見つけることができます。

悪性の病気だけでなく、良性のものも見つかります。

しかし閉経前でいわゆる高濃度乳房の人では、正常の乳腺組織のなかにある乳がんを区別してみつけるのがむずかしいことがあります。

そのような場合には超音波検査が有効です。

超音波検査では乳腺は白く、がんは黒く描出され、乳がんの検出にすぐれます。乳がんだけでなく治療の必要のない良性の病変も拾い上げるため、その区別に注意を要します。

現在超音波検査は対策型乳がん検診の対象とならない20歳、30歳代を対象として主に人間ドックなどの健康診査として行われています。見落としのない高い技術をもった検査技師や医師の充足、がんと治療の必要のない病変の判別などが今後の課題です。

・視触診や超音波検査(エコー)だけじゃだめなのか

視触診も超音波検査も、乳がんを調べる大切な方法ですが、マンモグラフィーを視触診と併せて行った乳がん検診は視触診だけの検診や超音波検査を併用したに比べて、2~3倍の乳がんの発見が可能です。

・マンモグラフィー検査は何歳ごろから受けた方がいいのか

現在の対策型マンモグラフィー検診（自治体が行う住民検診）の対象は40歳以上で、40歳未満に対するマンモグラフィー検診の有効性は認められていません。40歳未満は乳がんになる人が少ないため検診の効率が低いということと、40歳未満では乳腺が発達しているため、マンモグラフィーでは乳腺の異常が分かりにくいことがその理由です。

マンモグラフィー検診の結果、悪性の可能性がある場合、“異常あり、精密検査が必要です”というお知らせがいくこととなります。しかし、これは必ずしも乳がんというわけではありませんので必要以上に心配することはありません。1,000人がマンモグラフィー検診を受けると、そのうちの50人から100人ほどが精密検査を行い、乳がんと診断されるのは3人程度です。

・マンモグラフィー検査はどのくらい（回数・頻度）受ければいいのか

マンモグラフィー検査は、視触診と併せて最低2年に1度、できれば1年に1度受けるようにしましょう。

・早期発見の重要性

実際に触れない段階で乳がんを見つけて治療すれば、95%のひとは助かります。マンモグラフィー検診の目的のひとつは、この初期の手に触れる前の段階の乳がんを見つけることです。早期で発見され治療を受けられた場合は、進行した乳がんの治療に比べ費用負担も少なく、再発のリスクも減ります。初期の段階で乳がんを見つけるために、マンモグラフィー検診を広くひろめることが大切です。

・マンモグラフィーの受診率

残念ながら日本では通年でマンモグラフィー検診の受診率は国民の6～7%程度（2年に1度のマンモグラフィー検診と視触診のみの検診をいれても17%）に留まっています。欧米では75～80%の女性がマンモグラフィー検診を受けています。これはアメリカでは（世界的な乳がんの啓発月間である）毎年10月の第3金曜日がナショナルマンモグラフィディとして制定され、全女性がマンモグラフィーを無料または減額して受けられるようになっているからです。またイギリスでは50～70歳の全女性国民に検診を促す通知が届くからです。日本でも、40歳以上の方にクーポンが届くと思うので、是非利用して検診を定期的に受けるようにして下さい。

・検診マンモグラフィー撮影認定放射線技師とは

日本乳がん検診精度管理中央機構が用意した講習・試験を受け、マンモグラフィー撮影に関して一定基準以上の知識・技術があると認められた放射線技師に与えられる認定証明です。沖縄県内には約90名の認定技師がおり、当院では2名の認定技師がマンモグラフィーの撮影を担当しています。当院では月曜日と金曜日に検査を受けることができるので、マンモグラフィー検診の際にご利用ください。